

福岡空港・沖縄(那覇)空港で チェックイン時のタッチパネル非接触化を実施します

2021年4月19日

JALは現在、「JAL SMART AIRPORT(*1)」の取り組みとしてすべてのお客さまに安全・安心な空の旅をお届けできるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みを実施しています。

このたび、さらなる感染予防対策として、2020年3月に羽田空港国内線に導入したタッチレスセンサ(*1)を、福岡空港、沖縄(那覇)空港でも導入を開始します。

(*1) 関連リリース: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202103/005996.html>



タッチレスセンサ



各種感染対策

【1】概要

空港内の自動チェックイン機にタッチレスセンサ(*2)を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、ご搭乗手続きをしていただけます。タッチレスセンサから出る赤外線(*3)により、お客さまは画面に触れることなく機器を操作することができます(*4)。

(*2) 日本エアロスペース株式会社の製品 <https://www.j-aero.co.jp/products/airclick/>

(*3) タッチレスセンサから出る赤外線は一般家庭用機器で使用されるものと同じです。

(*4) 画面からの距離は自動チェックイン機: 2.5cm

【2】展開スケジュールについて

- ・福岡空港: 2021年4月18日(日)より全台使用開始
- ・那覇空港: 2021年4月23日(金)より全台使用開始予定

【3】安全・安心の取り組みについて

JALは新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しています。安心してご利用ください。

<予防対策例>

- 地上係員のマスク着用
- カウンターへのパーティションの設置
- チェックイン機、カウンターへの抗ウイルス・抗菌加工
- 定期的な清掃・消毒

以上